

質問の件名及び質問の要旨(質問時間)	答弁を求める者
<p>1 超高齢社会の対応について (50分)</p> <p>超高齢社会を向かえた鶴ヶ島市の対応、市民の対応についてお尋ね致します。</p> <p>先日の政策説明会にて老人施設・介護保険・後期高齢者保険について説明を受けました。以前よりいわれております鶴ヶ島市は高齢化社会から超高齢社会に突入し、今後の対応については想像を超えた言葉では表わせないような現実が待っているように思われます。そうした中で、市としての、役割りをどう行うのかをはっきりと市民に伝え、市の高齢化対応を明確にすべきと思います。</p> <p>市の予算配分においては、以前は社会福祉・高齢者福祉を重点に予算組みを行い、後に少子高齢化社会対応をしてきました。現在の鶴ヶ島市は少子化対応について予算が動いていますが、これも大変重要なことと思っております。その間に超高齢化社会となり現実的な対応をどのように行うべきかを市と市民全体で考えていかねばならないと思います。</p> <p>この問題は本市だけではなく日本全体の問題であります。本市において出来るものであれば、独自の対策を考案していかねばならないと考え、以下質問をします。</p> <p>(1) 超高齢社会に入った後、10年後・20年後の市の予想について。</p> <p>(2) 市として、今後高齢者に出来る対応は何か。</p> <p>(3) (2)の中で市民に求める対応は何か。</p> <p>(4) 「支えあう仕組みづくり」の必要性をはっきりと掲げ、市全体に進めなくてはと思うが、必要性の意識の拡大方法については。</p> <p>(5) 超高齢社会対策として市が何処まで出来るのか、市民はどうあるべきかの方策の周知について。</p>	<p>市長 教育委員会委員長</p>